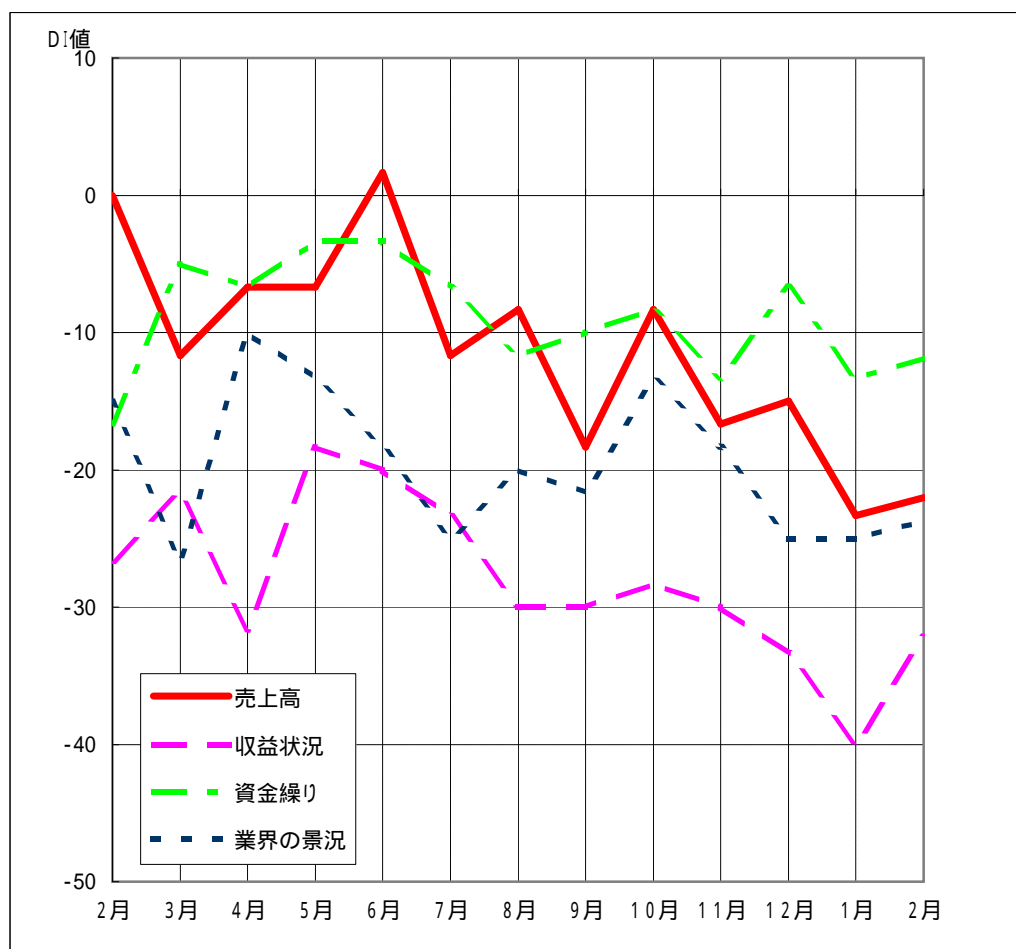


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値

平成18年2月～平成19年2月

単位:ポイント



	H18												H19	
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
売上高	0.0	-11.7	-6.7	-6.7	1.7	-11.7	-8.3	-18.3	-8.3	-16.7	-15.0	-23.3	-22.0	
収益状況	-26.7	-21.7	-31.7	-18.3	-20.0	-23.3	-30.0	-30.0	-28.3	-30.0	-33.3	-40.0	-32.2	
資金繰り	-16.7	-5.0	-6.7	-3.3	-3.3	-6.7	-11.7	-10.0	-8.3	-13.3	-6.7	-13.3	-11.9	
業界の景況	-15.0	-26.7	-10.0	-13.3	-18.3	-25.0	-20.0	-21.7	-13.3	-18.3	-25.0	-25.0	-23.7	

2月のDI値をみると、前年同月より「資金繰り」DIで小幅ながら好転したものの、他の3項目で悪化した。「売上高」DIは、前年同月より22.0ポイント悪化し、マイナス20%台に推移した。「収益状況」DIにおいては、5.5ポイントの悪化で、マイナス30%台に推移。「資金繰り」DIは、4.8ポイント改善し、マイナス11.9となった。「業界の景況」DIは前年同月より8.7ポイント悪化し、マイナス20%台に推移した。ここ3か月の景況は、一進一退に推移するも、緩やかながらやや持ち直し傾向にあることが窺える。

組合の特記事項からは、製造業では「鉄鋼・金属」「一般機器」の一部で需要増との報告があり、また、「繊維・同製品」「木材・木製品」の一部で暖冬によるプラスの影響がいくつか見られた。しかし依然として続いている原材料価格の高値推移等により厳しいとする報告が多い。

非製造業でも、「卸売業」、「鉱業」の一部で暖冬のプラスの報告が見られたが、それ以外の非製造業の多くでは、暖冬少雪のマイナスの影響、需要減、価格競争等により厳しい状況である。

新潟県内の中小企業は、原材料価格の高騰・価格競争等により先行き不透明で厳しい状況が続いている。